

## 事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	05 市民スポーツ活動の充実							
基本事業	99 施策の総合推進							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民

手段（事務事業の内容、やり方）

予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として実施。

全道大会出場：小学生・中学生のみ3,000円／人（ただし、原則として100km圏内で開催される大会を除く）。

全国大会出場：道外開催：10,000円／人、道内開催：5,000円／人。

国際大会出場：10,000円／人～30,000円／人を支給する（大会内容、開催地によって変動）。

ただし、オリンピック・アジア大会・国体・ユニバーシアード・その他学校教育の一環として行われる大会を除く。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	338	330	232	318
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,085	2,194	1,302	2,036
活動指標2						
成果指標1	全道大会出場者数	人	200	178	154	172
成果指標2	全国大会出場者数	人	132	145	74	143
事業費(A)		千円	2,085	2,194	1,302	2,000
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	2,486	2,595	1,693	2,391

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に対し、奨励金を交付した。	・奨励金 1,302千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 選手は、江別市を代表して出場するものであり、選手の負担軽減は競技スポーツの振興策の一環として行うものであり、妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 市内でトップレベルの選手が育つことは、競技スポーツのPRにもなり、その活性化が図られ、競技人口の底辺の拡大につながるものである。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 市内からは、青少年から成人までの各階層、さらには、多種多様なスポーツ種目において、多数の全道大会、全国大会出場者を輩出している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 全国・全道大会等に出場する選手に対する経済的支援を継続することにより、競技スポーツの活性化と競技人口の拡大につながるとともに、競技レベルの向上が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠 平成15年度に奨励金の支給基準を改正し、国体や成人団体への奨励を見直している。